

特集 I

マヌカハニー

ー抗菌

シクロケム

シクロケム(東京都中央区、☎03・5614・7147)は、一般的にハチミツよりも抗酸化活性の優れた「マヌカハニー」製品各種を生産元のニュージーランド・マヌカヘルス社と独占契約

を結び、関連会社のコサナを総代理店とする取り扱いを開始した。一部パルク供給の対応も行っている。
ハチミツは古くから、菌を殺す力が期待され傷口に塗る風習があった。

ハチミツの中でも高級品と位置づけられるマヌカハニーは現在もニュージーランドで▽創傷治療▽口臭予防、歯周病、口内疾患、扁桃腺炎の治療▽皮膚疾患(ニキビなど

を含む)の治療▽十二指腸潰瘍、胃潰瘍、胃がんの予防・治療▽糖尿病の併発症、長期療養患者の床擦れによる皮膚疾患の治療目的に使用されている。

これまでハチミツの抗菌力を示す値として、UMF(ユニークマヌカファクター)が指標とされていた。UMFは測定にディスク拡散法(菌を塗布した培地に調査対象物をしみこませたディスクを置き、菌の発育を阻止させることのできるディスクの周りの阻止円の直径により抗菌力を測定する方法)を用いている。しかし、これは物質に抗菌性があるかどうかを確認することが目的の手法で、抗菌物質が特定

活性物質がMGO(メチルグリオキサル)であることが特定された。

マヌカヘルス社はこの成分表示をいち早く推奨し、商標登録した「MGO」マークと、MGO含有量分析値によりグレードを分けた商品各種の展開を開始した。

同社製マヌカハニーのMGO量はグレードによって一般のハチミツの1000倍以上のものもある。

シクロケムではこのほか、ニュージーランド産プロポリス、ローヤルゼリー製品も引き続き取り扱っていく。

されてはならず、グレード分けの正確さには欠けていた。

そうした中、今年1月に、ドイツ・ドレスデン大学のトーマス・ヘンレ教授の研究により、抗菌